

7. テーブル・オフィシャルズ（TO）について

- 本大会のテーブルオフィシャル・フロアーキーパーは、参加チームによって行われる。割当は『2. TO・得点割当表』を確認すること。なお、スコアシートへの記入は、黒色鉛筆書きとする。
- なお、感染対策考慮し、筆記用具は参加チームが持参すること。大会本部では用意しません。
- 大会に臨むに当たって、TOについて選手達に十分に指導を行っておくこと。
- TOを担当するチームは時間に余裕を持ってオフィシャルズ・テーブルに着き、準備をすること。
- TOは子供たちが担当するゆえ、十分に指導を行っていたとしてもミスが起こることが考えられる。ベンチや観衆は寛容に対応すること。

8. ベンチマナー等について

指導者と保護者等ステークホルダーは、子どもたちを成長させるために、ミニバスケットボールの指導や応援を行わなければなりません。そのためゲーム中でのベンチマナー等については、下記の内容のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

1. コーチ等のベンチマナーについて

次のようなことを行ってはいけません。

- (1) 審判、TOや相手に対して、不作法に話しかけたり、プレイに対して「ファウル!」「歩いた!」等、大声を出したりして、審判の判定に過剰なアピールをすること。また、相手のフリースローに際し、集中力を阻害すること。
 - (2) テーブルや椅子をたたいたり、蹴ったりすること。
 - (3) ゲーム中にコートの中に入ること。(選手の負傷等、特別な場合を除く)
 - (4) チーム・ベンチ・エリアを離れて、指示を出すこと。
 - (5) ベンチの内外を問わず、選手に対して暴力的な行為を行うこと。
 - (6) ベンチでの、ビデオ・写真撮影、携帯電話を使用すること。
 - (7) 応援席や観客席で、鳴物等を使用すること。(うちわを叩いて応援することも含みます)
- このような行為に対して、審判とゲーム主任は厳格に対処します。また内容によっては、大会本部としても注意や警告に留まらず、出場停止等の重い処分をすることがあります。

2. 審判・テーブルオフィシャルズへの支援について

審判やテーブルオフィシャルズもゲームを行う大切な一員です。ゲーム中に判定や処置などにミスが起きることが考えられます。しかし、ベンチや応援者はそれを非難することなく、同じミニバスケットボールを育てる仲間として寛容に対処すべきです。

他方、審判やテーブルオフィシャルズは、その寛容さに甘んじることなく、選手やベンチがその力を最大限に発揮できるよう、常に普段から技術の向上に向けて努力し、選手のためにミスをなくすよう心掛けることは言うまでもありません。

3. 指導者の暴力的行為について

ゲーム会場だけでなく、そのチームがゲーム中か否かを問わず、選手に対して指導者が暴力的行為を行うことは、絶対にあってはならないことです。これは、単に自チーム内においての問題ではなく、児童の人権擁護と健全な育成・指導の点から、ミニバスケットボール全体に対して大きな誤解を招く恐れがあるからです。暴力的行為が認められた場合、大会本部はそのチームに対して厳格な処置を行います。

4. 保護者の応援について

保護者の応援は、ミニバスケットボールの性格上、必要不可欠なものといえます。しかし、興奮のあまり、時に自チームの応援に留まらず、相手チームの中傷や審判への罵声が聞かれることもあります。このベンチ外の応援については、ルール上何ら規定はありませんが、ミニバスケットボールにおいては、子どもたちとの関わりにおいて、それを容認することはできません。また、チームの品位や指導者の資質まで疑われることにもなります。このような点から、各チームの指導者は、ベンチ外の応援についても十分なお配慮をお願いいたします。